



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
 〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年7月8日（金）
 第14号
 発行責任者
 校長 志賀 嘉津美
 電話 22-3802

3学年 租税教室 7月1日（金）3年生を対象とした「租税教室」を実施しました。講師には税理士の海老沼四郎様お迎えし、次代を担う生徒の皆さんが税の意義や役割を正しく理解し、税に対する理解につながるご講話をいただきました。学校で勉強するにもたくさんの税金が使われていることや私たちが豊かに安全に暮らすための費用が税金であることを学習し、税金が無かったらどんな不都合なことが起きてしまうかについても考えました。最後は重さが約10kgある一億円のレプリカを持たせていただきました。一億円の量や重さを体感し、集める税や予算の大きさなどを実感することができました。



3学年 思春期保健教室 7月4日（月）郡山市産婦人科医の桜井秀先生をお招きし、3年生を対象に「思春期保健教室」を実施しました。この教室は、健康や性行動についての正しい知識や考えをもつことで、心身ともに健康な生活ができるよう支援することを目的とした南相馬市健康づくり課のご協力のもと行われました。第二次性徴に伴う男女の違いや妊娠の仕組みなどについて説明していただき、思春期特有の体・心の悩み、異性をいたわる大切さについてわかりやすく教えていただきました。生徒の皆さんにとっては、命の大切さを感じるとともに、今後の自分を考える有意義な時間となりました。



2学年 看護の仕事を学ぶ講習会 7月5日（火）小野田病院の看護師の方々をお招きし、2年生を対象に「看護師の仕事を学ぶ講習会」を実施しました。講習会では、看護師の仕事内容ややりがい、看護師になるためのルートについて教えていただきました。体験実習では防護服の試着体験を通じて新型コロナウイルス禍で苦労されている看護師の皆さんの大変さに触れることができました。また、吸引モデルを使用した口腔内吸引を行ったり、看護師さんが普段使っている道具に実際に触れたりするなど、学びの多い時間となりました。今回の学習を生かして、様々な職業について調べ、自分の進路決定に生かしてほしいと思います。



県中体連陸上競技大会 7月6日（水）「福島県中体連陸上競技大会」がとうほう・みんなのスタジアム（福島市）で開催され、本校からは3年男子1000mに吉田雄斗さんが相双地区の代表として出場しました。5日の予選が雷雨のため、翌6日に延期され、気持ちを切り替えて臨んだ予選第1組でした。残念ながら準決勝に進むことはできませんでしたが、相双地区大会の記録をこの1か月で0.31秒も縮めることができました。吉田さんのこれまでの努力と放課後の練習などをサポートしてくれたお友達に感謝の意を表します。



右端レーンを走る吉田さん

いじめ、差別や偏見のない社会を目指して 「同じものを好まない者を仲間外れにするという悪い風潮」そんな書き出しから始まる『特別の教科 道徳』の教科書資料の「いじめっ子の気持ち」を使って1年生は、いじめ問題を様々な視点から考えました。「本当に強い人はいじめなんかしない。」「いじめをすることはガキ大将一人の責任ではなく『みんなの責任』だ。」などいじめに対していろいろな考えが聞かれました。皆さんが弱い立場の人に寄り添ったら、強い立場の人が今度は一人になるかもしれません。皆さんはどうしますか。

